



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場会社名 フマキラー株式会社 上場取引所 東
コード番号 4998 URL <https://www.fumakilla.co.jp>
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）大下 一明
問合せ先責任者（役職名）取締役管理本部長（氏名）郷原 和哉 TEL 0829-55-2112
半期報告書提出予定日 2024年11月11日 配当支払開始予定日 ー
決算補足説明資料作成の有無： 無
決算説明会開催の有無： 有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	40,550	9.3	1,624	13.8	1,565	△11.2	742	△17.3
2024年3月期中間期	37,090	7.4	1,428	△11.1	1,764	△3.0	897	36.1

（注）包括利益 2025年3月期中間期 2,490百万円（△14.8%） 2024年3月期中間期 2,922百万円（8.8%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	45.04	—
2024年3月期中間期	54.45	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	59,879	27,253	41.6	1,510.42
2024年3月期	62,366	25,602	37.2	1,406.35

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 24,891百万円 2024年3月期 23,177百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	22.00	22.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	22.00	22.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2025年3月期連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,000	9.3	2,800	16.5	2,900	3.6	1,560	13.2	94.66

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	16,490,000株	2024年3月期	16,490,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	10,306株	2024年3月期	9,765株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	16,479,969株	2024年3月期中間期	16,480,995株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料における業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定の要素を含んでいます。実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値とは異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の4ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 当中間期の経営成績の概況

(経営成績)

(単位：百万円)

指標等	2024年3月期 中間期累計	2025年3月期 中間期累計	増減額	増減率(%)
売上高	37,090	40,550	3,460	9.3
営業利益	1,428	1,624	196	13.8
経常利益	1,764	1,565	△198	△11.2
親会社株主に帰属する 中間純利益	897	742	△155	△17.3
1株当たり中間純利益	54円45銭	45円04銭		

(国内・海外売上成績)

(単位：百万円)

	2024年3月期 中間期累計	2025年3月期 中間期累計	増減額	増減率(%)
国内	15,905	15,443	△462	△2.9
海外	21,184	25,107	3,922	18.5
合計	37,090	40,550	3,460	9.3
海外売上構成比	57.1%	61.9%		

当中間連結会計期間(2024年4月1日から2024年9月30日まで)におけるわが国の経済は、個人消費の回復や外出機会の増加などで緩やかな回復基調にある一方、緊迫化する国際情勢や為替動向などは依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは「ひとの命を守る。ひとの暮らしを守る。ひとを育む環境を守る。わたしたちは、世界中の人々がいつまでも安心して快適に暮らすことのできる社会づくりに貢献していきます。」という経営理念のもとで、それぞれの国に最適な高効力・高品質の商品を提供し、世界中のより多くの人々に安心を届けることを目指しています。

特に、この数年でグループ全体の事業領域と欧州展開をはじめとする地理的な拡大が進んだため、それらの経営基盤強化と事業展開のスピードアップを積極的に進めてまいりました。

その結果、連結売上高は前年同期比9.3%増の405億50百万円(為替変動の影響を除くと5.6%増)となりました。

国内売上は、殺虫剤市場の拡大もあり国内向け殺虫剤の売上が伸長した一方で、越境ECの売上が減少したことから、前年同期比2.9%減の154億43百万円となりました。一方、海外売上は、主力のインドネシアやイタリアが現地通貨ベースで前期を上回り、さらに円貨ベースでは円安の影響を受けた結果、前年同期比18.5%増の251億7百万円(為替変動の影響を除くと12.0%増)となりました。

売上原価は、前年同期比22億32百万円増加し287億52百万円となりました。国内では原材料価格の高止まりによる影響が残っている一方で、海外では原材料価格の高騰がひと段落し価格転嫁も進んできており、売上原価率は0.6ポイント減の70.9%となりました。売上総利益は117億98百万円(前年同期比11.6%増)となりました。

販管費につきましては、海外での積極的な広告投資や人件費の増加等により、前年同期比11.3%増の101億73百万円となりました。

これらの結果、営業利益は16億24百万円(前年同期比13.8%増)、経常利益は15億65百万円(前年同期比11.2%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は7億42百万円(前年同期比17.3%減)となりました。

次に、セグメント別の概況についてご報告申し上げます。

(単位：百万円)

		2024年3月期 中間期累計	2025年3月期 中間期累計	増減額	増減率(%)
日本		16,040	15,604	△436	△2.7
	殺虫剤	8,639	7,927	△712	△8.2
	家庭用品	900	854	△45	△5.1
	園芸用品	2,448	2,621	172	7.1
	防疫剤	983	886	△97	△9.9
	その他	3,068	3,314	246	8.0
東南アジア		14,224	16,298	2,073	14.6
	殺虫剤	14,199	16,277	2,078	14.6
	家庭用品	25	21	△4	△17.0
欧州		5,933	7,498	1,564	26.4
	殺虫剤	5,933	7,498	1,564	26.4
その他		891	1,148	257	28.9
	殺虫剤	891	1,148	257	28.9
合計		37,090	40,550	3,460	9.3
	殺虫剤	29,664	32,852	3,188	10.7
	家庭用品	926	876	△50	△5.4
	園芸用品	2,448	2,621	172	7.1
	防疫剤	983	886	△97	△9.9
	その他	3,068	3,314	246	8.0

日本

殺虫剤部門では、国内向けの売上が市場の拡大もあり伸長した一方で、越境ECの売上が減少したことから、79億27百万円(前年同期比7億12百万円減、8.2%減)の売上となりました。

家庭用品部門は、主力のアルコール除菌剤の売上は微増となった一方で、除湿剤の売上が前期を下回ったことなどにより、家庭用品合計の売上高はほぼ前期並みの8億54百万円(前年同期比45百万円減、5.1%減)となりました。

園芸用品部門は、カメムシ関連商材など園芸用不快害虫商品の売上が前期を上回った結果、園芸用品合計の売上高は、26億21百万円(前年同期比1億72百万円増、7.1%増)となりました。

防疫剤部門の売上高は、8億86百万円(前年同期比97百万円減、9.9%減)となりました。

その他の部門は子会社のフマキラー・トータルシステム(株)のシロアリ施工工事が好調で、33億14百万円(前年同期比2億46百万円増、8.0%増)となりました。

なお、外部顧客に対する売上高は、156億4百万円(前年同期比4億36百万円減、2.7%減)で、セグメント損失は9億21百万円(前年同期は4億77百万円のセグメント損失)となりました。

東南アジア

インドネシアやベトナムなどでの売上が現地通貨ベースで前期を上回り、さらに円安の影響を受けた結果、外部顧客に対する売上高は162億98百万円(前年同期比20億73百万円増、14.6%増)となりました。また、セグメント利益は12億89百万円(前年同期比1億27百万円増、11.0%増)となりました。

欧州

欧州においては、外部顧客に対する売上高は74億98百万円(前年同期比15億64百万円増、26.4%増)となりました。また、セグメント利益は8億34百万円(前年同期比4億11百万円増、97.1%増)となりました。

その他

インドとメキシコを中心に販売し、外部顧客に対する売上高は11億48百万円(前年同期比2億57百万円増、28.9%増)となりました。また、セグメント利益は1億30百万円(前年同期比67百万円増、107.1%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産額は、前連結会計年度末に比べて24億86百万円減少し、598億79百万円となりました。返品資産が5億41百万円、受取手形が2億96百万円、建設仮勘定が2億7百万円増加した一方で、商品及び製品が25億87百万円、売掛金が12億91百万円、現金及び預金が5億49百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べて41億37百万円減少し、326億26百万円となりました。主な要因は未払金が15億2百万円、返金負債が13億52百万円、未払法人税等が3億6百万円、長期借入金が2億29百万円増加した一方で、短期借入金が63億70百万円、電子記録債務が8億88百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べて16億51百万円増加し、272億53百万円となりました。主な要因は、為替換算調整勘定が13億67百万円、利益剰余金が3億79百万円増加した一方で、資本剰余金が1億38百万円減少したこと等によるものであります。

自己資本比率は4.4ポイント増加し41.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ5億38百万円減少し、76億33百万円となりました。

営業活動によって獲得した資金は68億55百万円(前年同期は88億24百万円の獲得)となりました。これは税金等調整前中間純利益が15億65百万円、減価償却費が8億90百万円、売上債権の減少額が16億81百万円、棚卸資産の減少額が29億51百万円、返金負債の増加額が13億34百万円、仕入債務の減少額が12億26百万円あったこと等によるものであります。

投資活動によって使用した資金は6億64百万円(前年同期は4億75百万円の使用)となりました。これは有形固定資産の取得による支出が5億99百万円あったこと等によるものであります。

財務活動によって使用した資金は72億69百万円(前年同期は85億71百万円の使用)となりました。これは短期借入金の純増減額の減少が64億24百万円、配当金の支払額が3億62百万円あったこと等によるものであります。

なお、当中間連結会計期間末における借入金残高は、前連結会計年度末に比べ61億19百万円減少して、88億64百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2024年5月15日の決算発表時点と変更はありません。なお、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,874	8,325
受取手形	534	830
売掛金	16,724	15,433
電子記録債権	485	324
商品及び製品	8,542	5,955
仕掛品	730	777
原材料及び貯蔵品	3,976	4,049
返品資産	837	1,378
その他	1,702	2,204
貸倒引当金	△20	△24
流動資産合計	42,387	39,254
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	5,513	5,538
機械装置及び運搬具 (純額)	2,237	2,246
工具、器具及び備品 (純額)	573	476
土地	928	950
リース資産 (純額)	40	32
使用権資産 (純額)	730	721
建設仮勘定	251	459
有形固定資産合計	10,275	10,426
無形固定資産		
のれん	1,000	1,019
商標権	898	913
その他	1,224	1,209
無形固定資産合計	3,123	3,142
投資その他の資産		
投資有価証券	5,241	5,406
退職給付に係る資産	135	135
その他	1,352	1,661
貸倒引当金	△149	△146
投資その他の資産合計	6,580	7,056
固定資産合計	19,978	20,625
資産合計	62,366	59,879

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,771	7,672
電子記録債務	3,172	2,283
短期借入金	14,191	7,821
1年内返済予定の長期借入金	271	292
リース債務	85	96
未払金	3,301	4,803
未払法人税等	231	537
賞与引当金	644	583
返金負債	2,435	3,787
その他	1,000	788
流動負債合計	33,105	28,667
固定負債		
長期借入金	521	750
リース債務	257	284
退職給付に係る負債	767	831
役員退職慰労引当金	428	424
資産除去債務	34	34
その他	1,650	1,631
固定負債合計	3,658	3,958
負債合計	36,763	32,626
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,698	3,698
資本剰余金	4,797	4,659
利益剰余金	10,457	10,837
自己株式	△8	△9
株主資本合計	18,944	19,185
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,117	2,217
為替換算調整勘定	2,003	3,371
退職給付に係る調整累計額	110	116
その他の包括利益累計額合計	4,232	5,705
非支配株主持分	2,425	2,362
純資産合計	25,602	27,253
負債純資産合計	62,366	59,879

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	37,090	40,550
売上原価	26,519	28,752
売上総利益	10,570	11,798
販売費及び一般管理費	9,142	10,173
営業利益	1,428	1,624
営業外収益		
受取利息	70	70
受取配当金	191	82
その他	165	141
営業外収益合計	426	293
営業外費用		
支払利息	47	83
為替差損	—	247
その他	43	21
営業外費用合計	90	352
経常利益	1,764	1,565
特別利益		
固定資産売却益	2	2
投資有価証券売却益	12	—
特別利益合計	14	2
特別損失		
固定資産除売却損	0	2
役員退職慰労金	—	0
特別損失合計	0	3
税金等調整前中間純利益	1,778	1,565
法人税、住民税及び事業税	672	718
法人税等調整額	56	△88
法人税等合計	729	630
中間純利益	1,049	934
非支配株主に帰属する中間純利益	152	192
親会社株主に帰属する中間純利益	897	742

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	1,049	934
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	257	99
為替換算調整勘定	1,607	1,450
退職給付に係る調整額	7	5
その他の包括利益合計	1,872	1,556
中間包括利益	2,922	2,490
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,653	2,215
非支配株主に係る中間包括利益	268	275

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,778	1,565
減価償却費	744	890
のれん償却額	60	67
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	55	7
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△26	△14
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△163	△110
受取利息及び受取配当金	△261	△152
支払利息	47	83
為替差損益 (△は益)	—	6
投資有価証券売却損益 (△は益)	△12	—
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△2	0
受取保険金	△1	△2
売上債権の増減額 (△は増加)	2,086	1,681
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,663	2,951
仕入債務の増減額 (△は減少)	451	△1,226
返品資産の増減額 (△は増加)	△534	△532
返金負債の増減額 (△は減少)	899	1,334
その他	1,189	601
小計	8,976	7,151
利息及び配当金の受取額	253	156
利息の支払額	△48	△91
保険金の受取額	1	2
役員退職慰労金の支払額	—	△0
法人税等の支払額	△357	△363
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,824	6,855
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	13	△3
有形固定資産の取得による支出	△407	△599
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△59	△19
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	47	—
その他	△66	△41
投資活動によるキャッシュ・フロー	△475	△664
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△8,084	△6,424
長期借入れによる収入	392	344
長期借入金の返済による支出	△274	△171
リース債務の返済による支出	△91	△135
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△362	△362
非支配株主への配当金の支払額	△151	△199
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△319
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,571	△7,269
現金及び現金同等物に係る換算差額	531	539
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	309	△538
現金及び現金同等物の期首残高	6,215	8,172
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,524	7,633

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	東南アジア	欧州	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,040	14,224	5,933	36,199	891	37,090
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,613	1,107	—	2,720	—	2,720
計	17,653	15,332	5,933	38,919	891	39,811
セグメント利益又は損失 (△)	△477	1,162	423	1,108	63	1,171

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでおります。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,108
「その他」の区分の利益	63
セグメント間取引消去	256
中間連結損益計算書の営業利益	1,428

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間 (自2024年4月1日 至2024年9月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	東南アジア	欧州	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,604	16,298	7,498	39,401	1,148	40,550
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,039	1,258	—	3,298	—	3,298
計	17,643	17,557	7,498	42,699	1,148	43,848
セグメント利益又は損失 (△)	△921	1,289	834	1,203	130	1,334

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでおります。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,203
「その他」の区分の利益	130
セグメント間取引消去	290
中間連結損益計算書の営業利益	1,624

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。